

知的財産DXの戦略的見取り図：自律型AIエージェントの実力と導入最適解

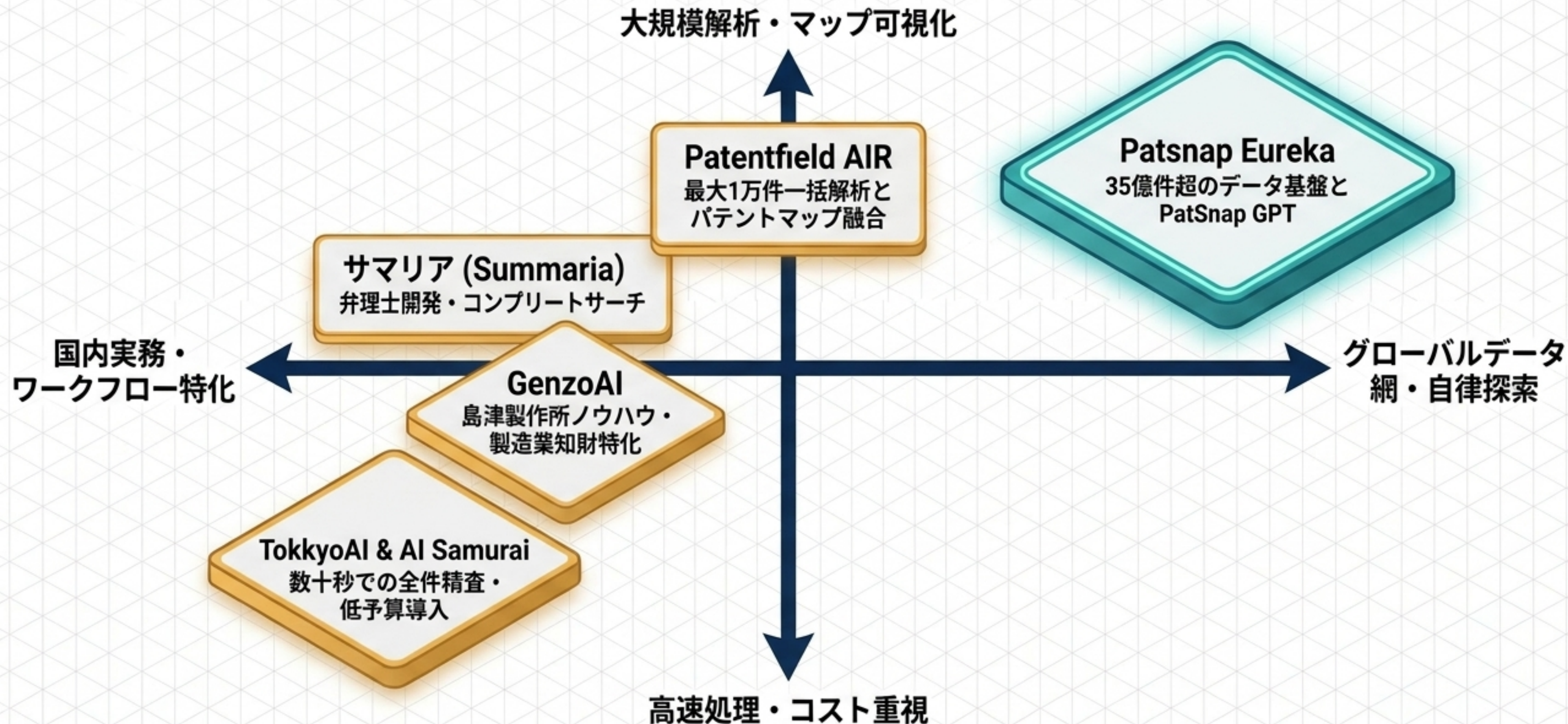
Patsnap Eurekaと国産知財AI主要5ツールの
徹底比較・ROI・法務ガバナンス分析

AIパラダイムシフト：単発作業から自律型ワークフローへ



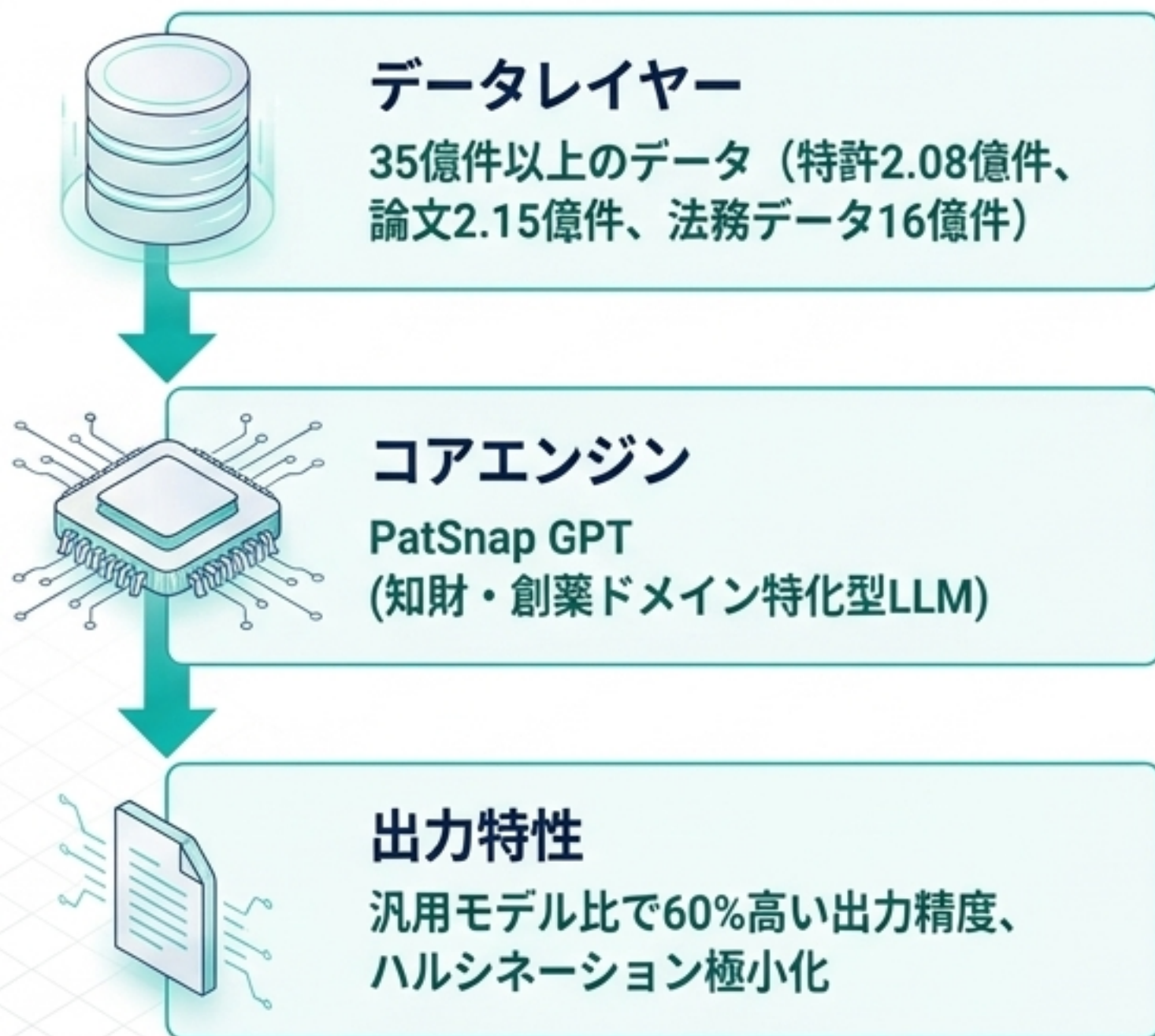
パラダイムシフトの到達点：高額な外部委託と長時間の単純作業から脱却し、AIが処理した高度な分析結果を専門家が最終判断する「Human-in-the-Loop」が新たな業界標準に。

知財AIプラットフォーム：市場ランドスケープとポジショニング

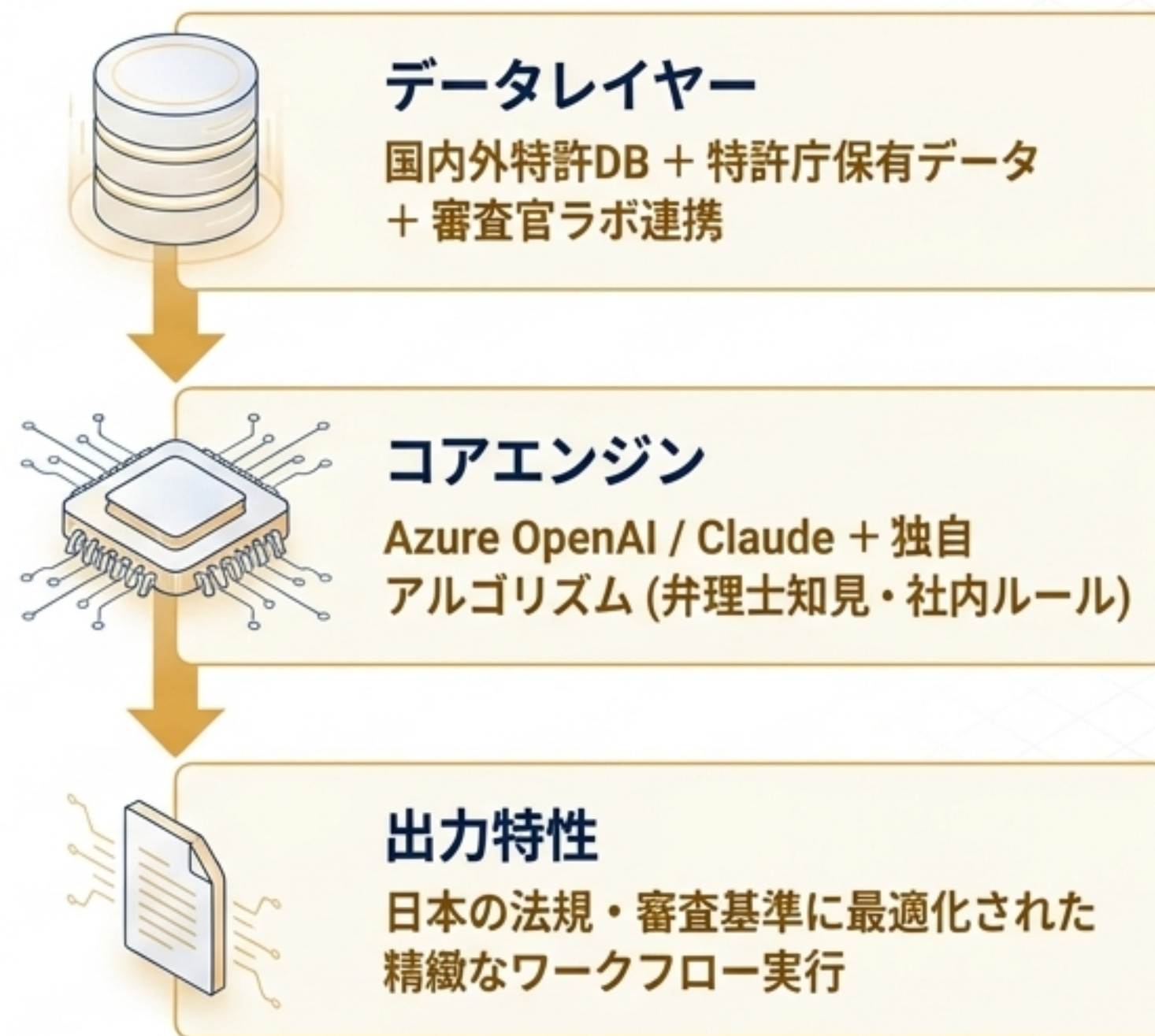


コアアーキテクチャの比較：データ規模 vs. 実務ロジックの統合

グローバルエンジン (Patsnap Eureka)



エキスパートエンジン（国産主要ツール）



機能比較 ①：先行技術調査 (Novelty Search)の進化

	Patsnap Eureka	サマリア	Patentfield AIR
検索式の要否 (Boolean Reliance)	 完全不要（自然言語から自動マルチ検索）	 AIがFI/Fターム含む検索式を最大50個自動作成	 検索式+AIセマンティック検索
母集団査読アプローチ (Review Method)	35億件のグローバルDBを自律探索	2,000件規模の全件査読（コンプリートサーチ）	最大1万件母集団を一括査読・対比評価
非特許文献の網羅性 (Non-Patent Literature)	 2.15億件の論文DB同時検索	 特許文献中心（高精度な国内網羅）	 特許文献中心（多国籍対応）

重要なインサイト：検索式（Boolean）の組み立てという属人的なスキルから解放され、「完全自動探索」か「大規模母集団の全件査読」へとアプローチが二極化。

機能比較②：FTO（侵害予防調査） — 「単発チェック」から「継続的モニタリング」へ

従来のFTO調査



AI主導のFTO調査



Patsnap Eureka

評価スピード60～500倍。
1レポート約\$200に劇的削減。



GenzoAI

製造現場特化。AIが「非侵害」と
判定した特許の人間による再確
認を省略（工数90%削減）。



Patentfield AIR

製品構成要素をプロンプト設定
し、請求項との抵触可能性を数
値スコア化・一括Excel出力。

機能比較 ③：明細書作成と中間処理における国産ツールの優位性

出願・明細書作成 (Drafting & Translation)

TokkyoAI

研究メモや技術資料から僅か1分で類似検索～明細書ドラフトを自動生成（速射性）。

GenzoAI

日本語明細書の英中翻訳、図面内テキスト翻訳。高額な外国出願翻訳業務の完全内製化。

中間処理・拒絶対応 (Prosecution & Office Actions)

サマリア

拒絶理由通知書をAIが解析。審査官の認定内容を整理し、「応答方針コメント」や「意見書案・補正書案」のたたき台を自動生成。

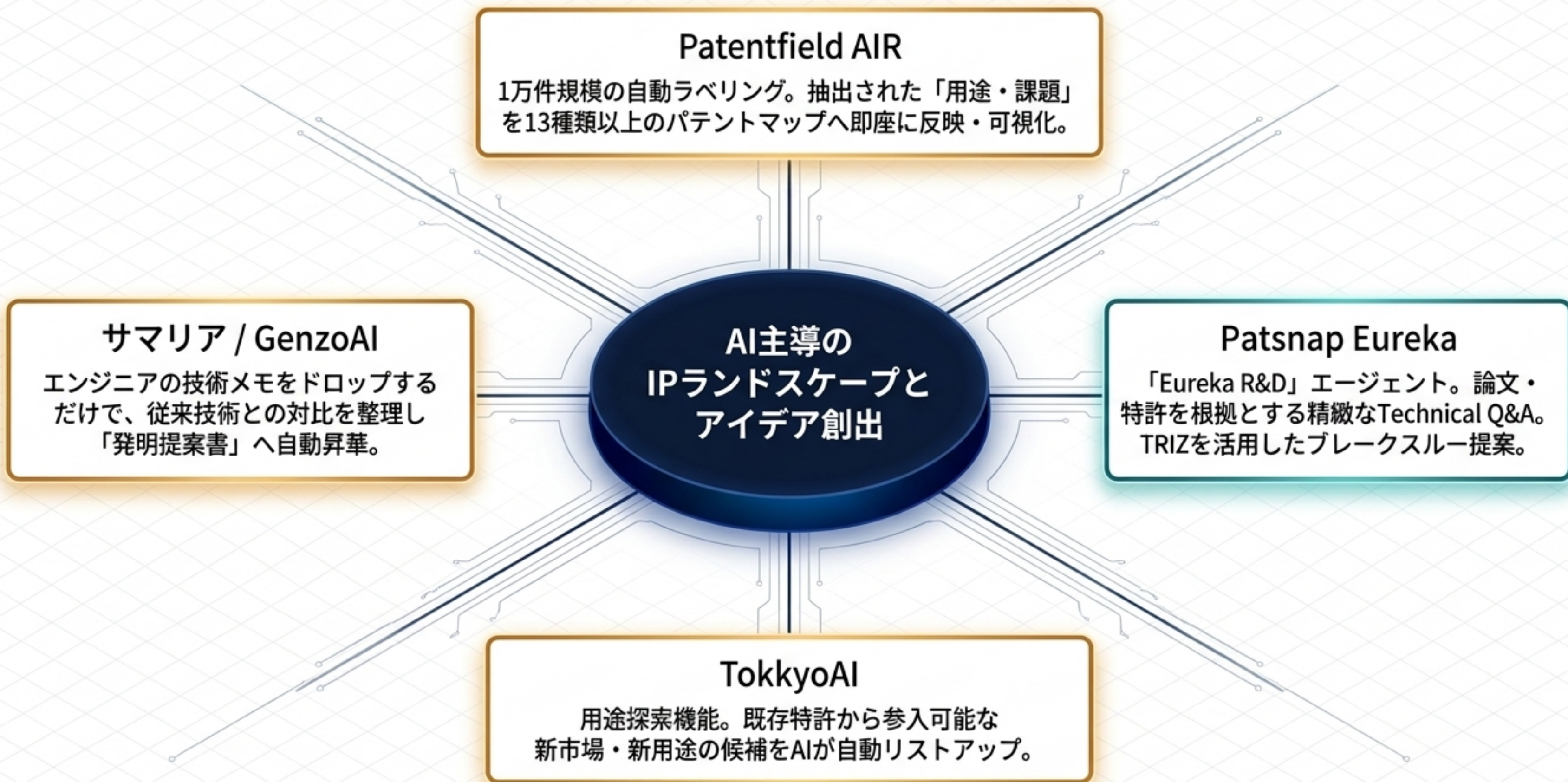
GenzoAI

審査官の判断論理を評価して補正案提示（島津製作所内ではAI主導プロセスが定着）。

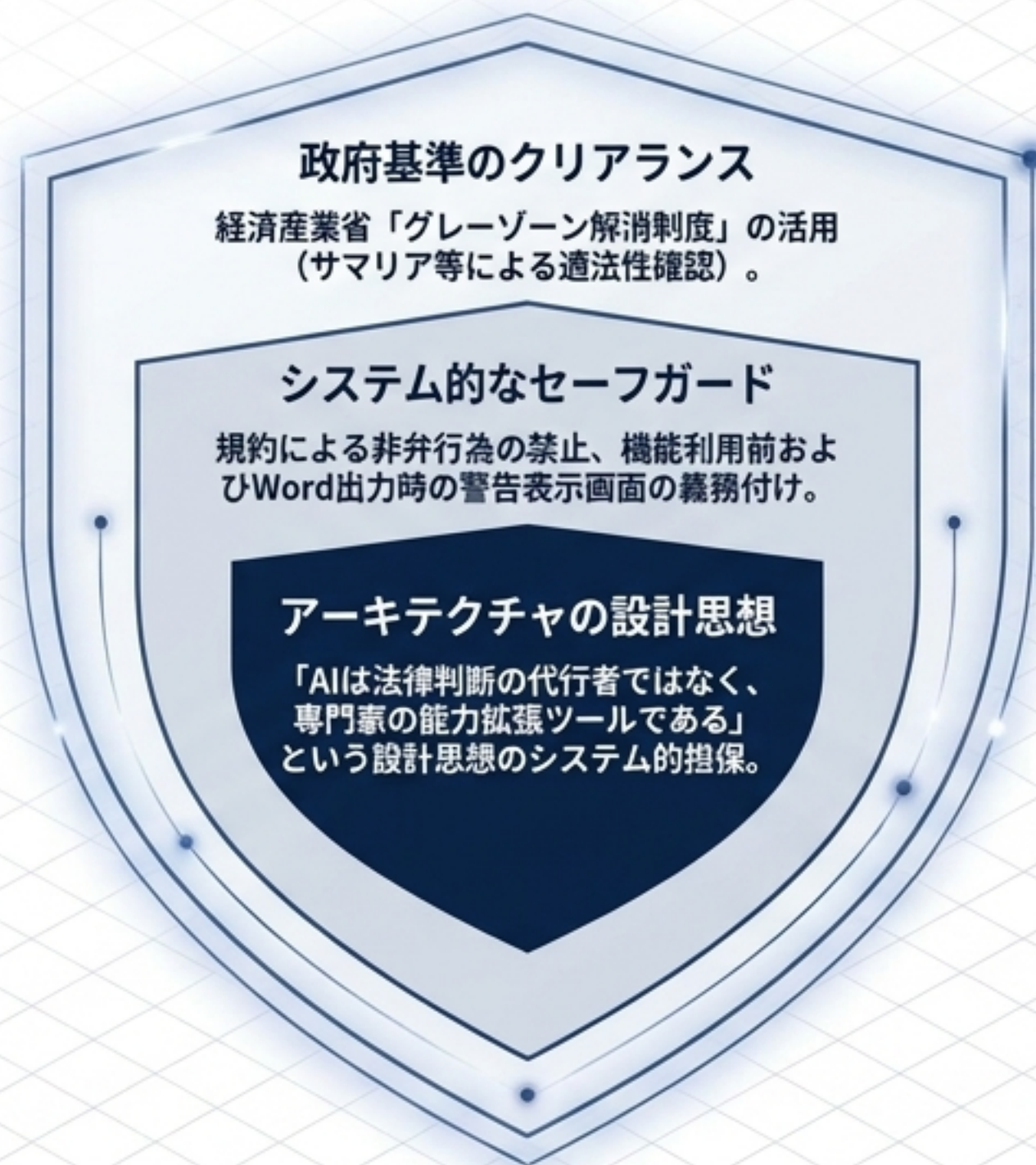


知財管理システムとのシームレスな統合

機能比較 ④：知財部を超えたR&Dエンジニアへの価値提供 (IP Landscape)



ガバナンス・法的適合性 ①：弁理士法第75条（非弁行為）への対応



結論：法的リスクを排除。AIがたたき台を作成し、弁理士・専門家が「最終判断」を下す設計により、コンプライアンスとDXを両立。

ガバナンス・法的適合性 ②：エンタープライズ基準のデータセキュリティ

グローバルスタンダード (Patsnap)



- 認証取得: ISO 27001, GDPR, AICPA SOC認証取得。
- 非学習の絶対保証: ユーザーの入力データ・技術資料のモデル再学習利用を厳格に禁止。

ドメスティックスタンダード (Patentfield / GenzoAI / TokkyoAI)



- ゼロ・リテンション: API経由のモデル利用。入力・生成データは一定期間経過後に自動完全消去。
- プライベート環境: 検索キーワードのトラッキングによる動向漏洩を防ぐ、完全隔離された特許検索環境の提供。

共通基盤:「入力データはAIモデルの学習には一切使用されない」という完全な保証

定量的導入効果（The Hard ROI）：知財業務コストとスピードの劇的改善



8,000万円 / 年

コスト削減：島津製作所におけるGenzoAIの実証成果。外部委託コスト削減額。FTO関連工数も最大90%削減。



60x ~ 500x

処理スピード向上：Patsnap Eurekaの自律型エージェント導入によるFTO・先行技術調査の高速化。外部委託の「数日」が「数分」へ。



20時間 → 数分

作業時間短縮：サマリアのコンプリートサーチによる2,000件規模の全件査読の短縮化。知財部門のキャパシティが2~3倍に拡張。

戦略的シンセシス：組織プロファイル別・最適ツール選定フレームワーク

多国籍展開・グローバルR&D

【推奨: Patsnap Eureka + GenzoAI/Summaria】
グローバル探索網と国内実務内製化のハイブリッド体制

大量スクリーニング・
IPランドスケープ重視

【推奨: Patentfield AIR】
1万件一括処理とパテントマップ融合による圧倒的分析力

国内製造業・知財内製化重視

【推奨: GenzoAI または サマリア】
社内フロー直結・エンジニアからの発明発掘自動化

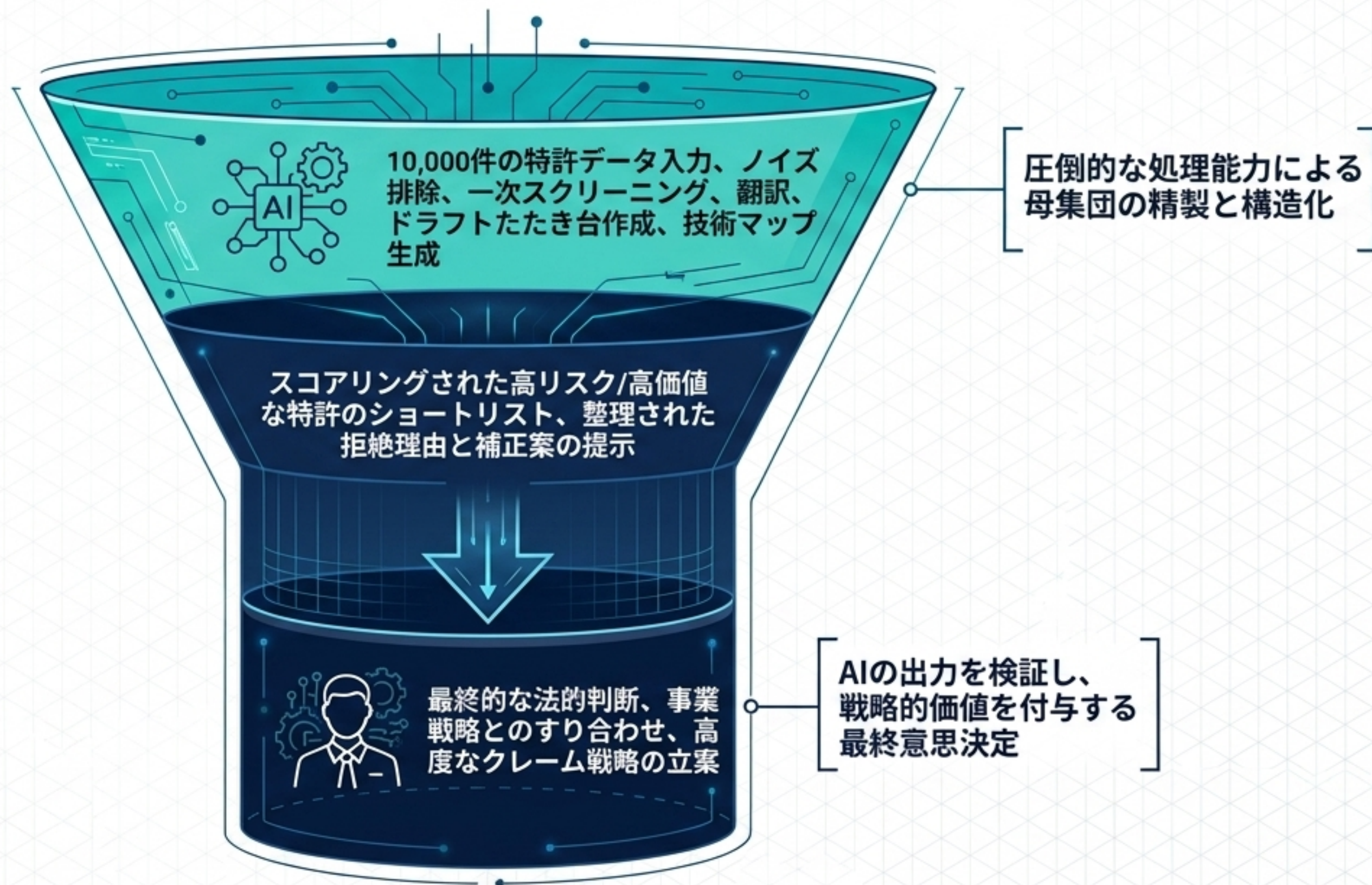
特許事務所・弁理士法人

【推奨: サマリア】
弁理士法適合の厳格設計・拒絶理由通知への高度な対応支援

スタートアップ・
中小企業（予算限定）

【推奨: TokkyoAI または AI Samurai】
低初期費用・直感的な発明提案書自動生成

新たな業界標準：「Human-in-the-Loop」ワークフローの確立



結論：次世代知財部門へのロードマップ

単一ツール依存からの脱却

これら主要ツールは完全な競合ではなく、それぞれ強みを持つ「領域」が異なる。自社の課題に応じたハイブリッド型スタック（例：探索のPatsnap × 実務のサマリア）の構築が鍵。



人材の役割の再定義

AI導入により、知財担当者は「調査・翻訳の作業員」から、R&D部門と直接連携する「知財戦略のコンサルタント」へと役割が進化する。

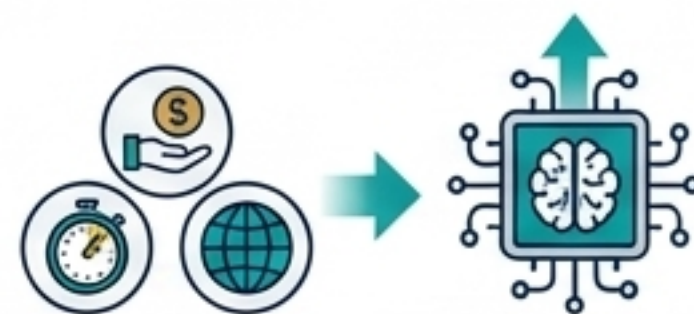


作業員

知財戦略コンサルタント

即時PoCのアクション

自社のボトルネック（FTOコスト、明細書作成工数、グローバル調査力）を特定し、最適なAIエージェントの概念実証を直ちに開始する。



知的財産DXは「オプション」から、企業の競争優位性を左右する「前提条件」へ。